

平成19年度 第4回 北九州市地方独立行政法人評価委員会

(議事要旨)

- 1 日時：平成19年8月8日(水) 14:00～16:00
- 2 場所：市役所庁舎 5階 特別会議室A
- 3 出席者：
 - 委員(五十音順)
 - ・石田委員長、片山委員、城水委員、福地委員
 - 市側
 - <総務市民局>
 - ・梅本経営企画室長、古澤経営企画室次長 他
 - <公立大学法人北九州市立大学>
 - ・本村事務局次長、江島経営企画課長、二宮総務課長、大谷管理課長 他
- 4 議題
 - (1)平成18年度公立大学法人北九州市立大学の業務の実績に関する評価案の決定について
 - (2)平成18年度公立大学法人北九州市立大学の業務の実績に関する評価結果の大学への通知、及び市長への報告について
 - (3)北九州市立大学の平成18年度財務諸表及び剰余金の繰越承認について

5 議事 (要旨)

	(1) 評価案の決定について
委員長	それでは、議題に従って進行します。議題1は「平成18年度公立大学法人北九州市立大学の業務の実績に関する評価案の決定」についてです。事務局より、説明をお願いします。
事務局	事務局よりお願いがあります。項目別評価については、前回ご審議いただいたのですが、事務局において評価と中期計画との関係を整理した結果、何点か評価を再検討いただきたい項目がございました。資料1をご覧ください。再検討いただきたい理由と見直しの評価案について記載しております。この項目についてもう一度大学から説明いただき、最終的な評価を決めていただきたいと思います。
委員長	分かりました。それでは大学から説明をお願いします。 《北九大より「大学作成資料」の説明》
委員長	委員の皆様、ただいまの説明について、ご意見等ありましたらお願いします。
委員	年度計画58については、6000人の目標がある限り、来年から500人ずつ増やしていく必要があり、とせざるを得ません。
大学	別紙5の2枚目、18歳人口の推移を見ていただくと、全国的に志願者確保が非常に難しくなっておりますので、目標の見直しの必要性について認識しています。
委員	最初から実施状況に今された説明を記述いただければ判断しやすいのですが、実施状況のほかに別に説明が必要というのは、いかがかなと思います。
大学	来年度以降は工夫させていただきます。
委員	一生懸命やっているから にして欲しいというんじゃなくて、中期計画の進捗状況を客観的に判断できる年度計画を作成して欲しいですね。
委員	中期計画22と年度計画38では、年度計画の方が幅が広く判断に迷いま

	<p>したが、中期計画がビジネススクールについての記述なので、年度計画のビジネススクールの実施状況で判断しました。</p>
委員	<p>剰余金の使途のところ「教員退職引当金」がありますが、これは毎年きちんと積み立てているのですか。それとも、剰余が出たから積み立てているのですか。</p>
大学	<p>基本的には、教員の退職金は市から全額支給されますが、市の予算上の定数にカウントされない教員を配置したことにより、当該教員の引当金について、来年度から引当することとしました。</p>
委員	<p>せっかく項目別に剰余金の使途をあげていただけていますが、「その他教育研究向上のための経費」の金額が大きく少し分かりにくくなっています。これは具体的には何ですか。</p>
大学	<p>情報処理やネットワークのセキュリティが大半を占めています。</p>
委員	<p>それならば、せめて備考に記述下さい。</p>
大学	<p>分かりました。</p>
委員	<p>別紙2のマネジメント研究科の志願状況について慶応大が記載されていないのはなぜですか。</p>
大学	<p>この資料には、専門職大学院しか載せていません。</p>
委員長	<p>他にご意見、ご質問はありませんか。では、事務局から今説明のあった項目について、確認をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">《事務局より6項目の評価を委員に確認》</p>
委員長	<p>それでは、中期計画22・年度計画38については「 」、中期計画40・年度計画58については「 」、中期計画45・年度計画58については「 」、中期計画61・年度計画38については「 」、中期計画62・年度計画38については「 」、中期計画75・年度計画85については「 」ということでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">《各委員了承》</p>

委員 長	続きますして、分野別評価、全体評価について事務局から説明をお願いします。
事 務 局	資料2をご覧ください。これは委員の皆様からご提出いただいた評価調書を踏まえ、前回ご審議いただいた項目別評価に分野別評価と全体評価を加え、「評価案」として作成したものです。
	《事務局より資料2の説明》
委員 長	委員の皆様、ただいま説明のありました「評価案」について、ご意見等ありましたらお願いします。
委 員	全体評価の最初の文章の「中期計画の中間程度まで」という記述があいまいなので、外したほうが良いと思います。
委 員	4つ目の文章で北九州市立大学の特徴として「産官学連携」について触れる必要があると思います。
委 員	3つ目の文章の「世界初の消火剤の開発」は、「世界初の天然系の消火剤」としたほうが良いと思います。
委 員	最後の文章の「中期計画の検証、見直し」については、「中期計画の検証」ということに留めた方が良いと思います。
委 員	分野別評価1と2で「ビジネススクール」の記述が重複するので、少し整理した方が良いと思います。
委 員	分野別評価1の志願者6000人の目標については、大学が下方修正を検討しているということなので、目標数字は出さない方がよいのではないのでしょうか。
委 員	分野別評価2の「評価室」については、分野別評価4に出てくるので、削除してもいいと思います。
委員 長	ただいまの意見を踏まえまして、先ほどの項目別評価も含めて私と事務局の方で修正させていただき、皆様には、修正したものを後日送付させていただくということによろしいでしょうか。

	<p>《各委員了承》</p>
	<p>(2) 評価結果の大学への通知、市長報告について</p>
委員 長	<p>では、次の議題に移ります。次の議題は、「平成 18 年度公立大学法人北九州市立大学の業務の実績に関する評価結果の大学への通知、市長への報告」についてです。事務局より説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>資料 3 をご覧ください。北九大には、「評価案」に意見がある場合、「評価結果に対する意見の申立」を 8 月 13 日までにを行うよう通知します。意見が無い場合は、この評価案を当委員会の「評価結果」として確定させていただきます。意見があった場合には、意見を踏まえて評価案の修正等について対応を決定したうえで、委員会としての評価を確定したいと思います。ただし、もう一度委員会を開催する時間的な余裕がありませんので、各委員に個別にご意見を伺ったうえで、委員長と協議し、対応を決めさせていただきたいと思ひます。</p> <p>そして、評価が確定した後、資料 4、資料 5 のとおり、本委員会としての「評価結果」を北九大へ通知し、市長へ報告させていただきます。市長への報告につきましては、8 月 24 日に本委員会を代表して、石田委員長より評価結果書を市長へ手交していただき、引き続き記者会見を行っていただきたいと考えております。</p>
委員 長	<p>評価結果の大学への通知、評価結果書の市長への報告について、事務局から説明がありましたが、委員の皆様、何かご質問等がありますか。それでは、大学から意見の申し出があった場合、委員の皆様にご意見を伺い、その対応については、私と事務局で決定させていただきたいと思ひます。</p>
	<p>(3) 財務諸表及び剰余金の繰越承認について</p>
委員 長	<p>では、次の議題に移ります。次の議題は、「平成 18 年度の北九州市立大学の財務諸表及び剰余金の繰越承認について」です。それでは、事務局からご説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>資料 6 をご覧下さい。前回、ご意見がありませんでしたので、どちらについても「意見なし」ということにさせていただいております。本日付で意見を決定し、市（産学局）に意見書として提出したいと思ひます。</p>

委員 長	<p>委員の皆様、意見なしということによろしいでしょうか。それでは、この意見書を提出したいと思います。それでは、本日の委員会はこれで終了します。委員の皆様、非常にタイトなスケジュールの中での評価、お疲れ様でした。</p> <p style="text-align: center;">《委員会終了》</p>
------	---